

芝生広場フェス実行委員会 事業計画



1

芝生広場フェス実行委員会の始まり

2021年5月から始まった芝生広場フェス

コロナ禍で様々な活動が止まる中、町内で活動する団体が集まり、参加者が心地よく生きるための活動のコンサートを開催

芝生広場フェス!



【実行委員会構成メンバ:

下記団体及び個人での参加者 12名】2025年12月末現在
グレート・シルバー・オーケストラ(G.S.O)、新体操クラブ、
Swing Band TAKETOYO、武豊吹奏楽団、三代真史ジャズダンス
サークル武豊、ジュニア吹奏楽団ピース、社会福祉士、
福祉団体職員、元自治体職員、NPOたけとよ、
武豊町民会館舞台スタッフ

2

事業 目的

様々な人が集い、それぞれの思いを伝え、共感しあえる場や機会、環境を提供することで、人と人との繋がりを深めていくこと



ゆめたろうプラザの芝生広場を活用し、文化芸術に係る団体と年代や背景の異なる地域住民が交流できるイベントを開催します。

そこには様々な人が集い、思いを伝え合い、共感しあえる場が生まれます。



3

まちの課題

【学び】

- ・文化芸術に気軽に取り組める機会・場の減少
- ・中学校の部活動の地域移行における受け皿の確保

【健康・福祉】

- ・福祉団体の分野横断的な繋がりの希薄化

【まちづくり・地域経済】

- ・町行事の減少による自己表現・交流機会の減少

4

事業 目標

多くの団体や人たちと、芝生広場フェスを創ることで、継続的な開催への意欲と、互いに支え合い、連携・協働する意識を高める。

グレート・
シルバー・
オーケストラ
(G.S.O)



じろちゃんコロッケ と あじさい

武豊新体操
クラブ



多賀授産所



5

協働のテーマ



武豊町第6次総合計画 まちづくり目標

3：楽しく学び、いきいきとした生活ができるまち (学び)

4：人と人がつながり、お互いに支え合い、
健康で安心して暮らせるまち (健康・福祉)

8：多様な主体が連携・協働するまち (まちづくり・地域経営)



6

協働事業の内容 ①

① 芝生広場フェスの開催

- ・年代や障がいの有無にかかわらず地域の様々な団体や個人が参加でき、幅広い人材が活躍できるステージイベント・出店の実施
- ・会場全体で出演者及び来場者が交流できる体験型イベントの実施
- ・プロを招待し、普段観ることができないパフォーマンスを観る機会をつくることにより、未経験者からプロまでグラデーション的に芸術を楽しみ、幅広い繋がりを創出する

7

協働事業の内容 ② ③

② 地域交流事業

- ・芝生広場フェスで知り合った地域の施設や事業所・団体等が交流する場を2～3カ月に1回開催

③ 文化創造コーディネート事業

- ・地域の文化関係団体と、地域貢献に関心・意欲がある民間企業の情報を収集整理する
- ・幅広いネットワークをもつ実行委員会メンバーが各団体等のアドバイザーとなり、マッチング等の支援をすることにより、地域の文化芸術の活性化をコーディネートする

8

事業実施により期待される効果



- ・出演者、出店者の相互交流により人々の出会いとコミュニケーションが生まれる
- ・文化芸術を核とした地域活動の活性化と魅力が創出される
- ・事業を通してネットワークが形成され、幅広い人材のコミュニティとして地域に寄与できる



9

事業の特徴



- ・老若男女問わず参加でき、互いに新しい発見や学びを得ることで生活に生きがいと潤いを感じるようになる
- ・芸術文化団体を中心に、多くの団体・個人が協働することで、地域の文化活動の活性化に寄与することができる
- ・音楽や芸術・ダンス・福祉など幅広い人材から構成された実行委員会がコーディネートを行うことにより、幅広い層に対し事業を展開することができる

10

2026年芝生広場フェス実行委員会の成果目標

- 芝生広場フェス2026の見込み来場者 500名
- 出店等の地域の団体や個人 30名
- 出演者：地域の音楽・スポーツ・ダンス団体個人見込み100名
- 出演・出店した方が充実感や達成感を得た方の割合を80%以上
- イベント参加者と来場者が、同じ場を共有し共感的なコミュニケーションを図ることができた。50%以上
- 地域と団体をマッチングした数 年間5団体

11

次年度以降の活動について

- 芝生広場フェスの開催にあわせて必要な練習のほか、来場者が楽器の体験など表現者と交流できるようにする
- 社会福祉や介護サービスの事業所と共に地域コミュニティー作りに寄与する
- 表現活動をする方々のプラットフォーム作り、地域と人・団体のマッチングを目指す
- 令和8年度事業内に連携した民間企業から協賛を募り、本事業の活動継続性を図る

12



13

委員の声

「芝生広場フェスのイメージ」と「これから目指したいこと」

- 芝生広場という開かれた空間で、年齢や立場を越えて人が自然に集い、音楽や食、さまざまな体験を通して、ゆるやかに繋がっていく。
そんな、日常の延長線上にあるあたたかいフェス
- “一日限りの催し”で終わるのではなく、地域の人に関わり続けられるフェスとして、「参加する」「支える」「育てる」楽しさが、少しずつ広がり、循環していく場です
- 人と人、人と地域が、無理なく自然につながる時間を、これからも大切にしていきたいと考えています
- お客様と一緒に盛り上げられるような催しにしたい

14



ご清聴ありがとうございました

芝生広場フェス実行委員会

